

# 今号の まじ星さん

スペースパークの天文ボランティアの活動を始めて十幾星霜?郡山駅西口広場で毎月1回、開催される「駅前観望会」のお手伝いをしています。その時々によく見える星々を天体望遠鏡で駅前を往来する皆さんに気軽に天体ショーを楽しんでもらうのが駅前観望会です。

「月のクレーターが見えます」、「土星の環がきれいに見られます」、「木星の縞模様が見えます」などと声掛けしながら天体望遠鏡を覗いてもらいます。シーイングが良く(大気の揺らぎがなくて絶好の観望好機の状態)、今日は皆さんに素晴らしい天体ショーが見せられると意気込んで見てもらいますと…

「どこにあるの?よく分からぬ?」、「エーッ小っちゃ!」、「ワーッすごい!感動しました」人によって反応はいろいろです。初めての方にもわかりやすく、身近に宇宙を楽しみ、興味を持っていただけたら何よりです。次回の「駅観」も晴れますように!



## スペースパークボランティア大募集!

案内グループボランティア 科学グループボランティア 天文グループボランティア

### ■活動時間

(午前の部) 9:30~13:00  
(午後の部) 12:30~16:00

※館外での出張活動・イベント開催時、天文ボランティアの活動については、この限りではありません。※毎月2回以上の活動を予定しています。

### ■応募条件

- ①科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方
- ②15歳以上(中学生を除く)で健康な方 ※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- ③無償で参加可能な方 ※昼食代、交通費等の支給はありません。

### ■応募方法

ふれあい科学館に電話でお問い合わせいただくか、22階インフォメーションカウンターへ直接お越しください。



## S.P.V活動情報

~8月

ほかに公民館など市内出張活動を予定

### 案 内

“昔懐かし”紙芝居(約15分)

- 随時実演
- ☆展望ロビー(北)
- ジオラマショー案内(約20分)**
- 11:00~、15:00~、17:00~
- ☆展望ロビー(東)

### 科 学

かんたん科学工作ほか

- 土日祝 10:00~15:30
- ☆21階展示ゾーン入館者対象

### 天 文

駅前観望会

- 7/1 (土) 19:30~20:30
- 8/26(土) 19:00~20:00
- ☆郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承ください。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第54号9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をWEBでお知らせしています

WEBアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……**郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで**



☆科学グループ(山) … 今春は科学グループのみんなで開成山へ。トークも盛り上がり、満開快晴の、最高の花見となりました!  
☆案内グループ(原) … 今年度、久々の広報担当指令をいただきました(汗) どうぞよろしくお願いします。  
☆天文グループ(鹿) … 土星探査機「カッシー」が9月に土星に突入します。どんな成果を伝えてくれるでしょうか?ワクワクしますね。  
そんな土星が天の川とともに観えてきましたよ。「カッシー」見えるかも?

●スペースパークボランティアの会●

# S.P.V つうしん

第53号 2017/June

発行/スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

### 活動報告

#### 科学グループ

## サイエンスフェスティバル

### ■科学館展示ゾーン 5月3日 祝・水~7日日

5月3日からサイエンスフェスティバルが始まり、たくさんの人が朝から来館されました。一年ぶりのこいのぼり工作で、あれこれ無い物があり、手分けをし知恵を出しあって準備をしながら、お客様へ説明し作って頂きました。科学グループの仲間が予定より多く来て、対応出来たので助かりました。

親子、兄弟、孫と祖父母、帰省した家族連れなどいろいろな形でのご来場でしたが、お話をすると時間が無いほどカウンターには人が並びました。今回、工作をしたのは子どものみで、大人にはご遠慮いただきましたが、こいのぼりの順番や付け方に笑いがこぼれました。



子ども達は高校生のブースで科学の不思議さや楽しさの説明を受けたり、作った物を手にしていました。私達も高校生のブースを覗いて、新しい知識を得てきました。疲れましたが、楽しい1日でした。

科学グループ 加茂けい子

### 活動報告

#### 天文グループ

## 開成山こどもまつり

### ■ミューカルがくと館 5月5日 祝・金

5月5日は毎年恒例の開成山でのこどもまつり!

今年も風船ロケット作り、太陽観察を行いました。

風船ロケット作りでは、高校生ボランティアさんにお手伝いして頂き、来て頂いたお子さんはみんな自分のロケットを一生懸命作っていました。そして、そのロケットを飛ばすにはどうしたらいいか、尾翼の位置、力加減、機体が曲がっていたらダメだ、と試行錯誤しながら飛ばし、真っ直ぐに飛ぶとお父さんやお母さんと笑顔で喜んでいました。

太陽観察では穏やかな太陽を見る事ができました。小さな黒点でしたが、やっぱり子どもの方が見付けるのが早く、また、



大人にとっても子どもにとっても見付けた時の達成感が大きい、とても楽しい観察会になりました。

みなさま、ぜひ来年もお待ちしております!

天文グループ 相田青空海

# 活動報告 ボランティアまつり

科学館展望ロビー / 3月18日土 ~19日日

## 案内グループ



guidance group

原 弘子

毎年恒例のボランティアまつりがやってきました。案内グループでは、紙芝居はじめ昔あそびを中心としたブースを設けました。

当日は、親子連れ、学生さん、県外からたまたま遊びに来たと言う大人女子仲間が足を止め参加してくれました。中でも一番の人気は「囲回し」でした。『うわ～すごいノク』『どうやって回すですか～!?』と聞かれました。幸い、私は自主練(!?)の末(笑)回せるようになりましたので、習得したコツを伝授すると、夢中になって参加してくれました。お客様たちの弾む声に、こちらまで楽しくなってきました。短時間ながら共に楽しむことができて嬉しかったです。

## 科学グループ

science group

山田 善貴

春も間近な3月中旬、科学館で毎年恒例のボランティアまつりが開催されました。初日は天気にも恵まれ、展望ロビーは多くの来館者で賑わいました。

科学グループではメンバーで制作した展示工作と来場者に作って頂くお土産工作を用意する訳ですが、今回のテーマは「ホバークラフト」です。一昔前は高速・水陸両用な次世代の乗り物として注目を浴びたホバーですが、残念ながら今や「そんなモノもあったね～」と一部の大人に懐かしがられる程度の存在になってしまいました。しかし工作テーマとしては面白く、色々なホバー工作に触れ自ら作り上げることで、空気の力や摩擦について考えて頂く機会と致しました。

今回、私たちが用意した一番の目玉工作は、子どもが乗れる大型ホバークラフトです。危なくないように壊れないようにと事前の工作会では材料や大きさなどを試行錯誤し、当日も補修や改良を重ねながらの挑戦となりました。

ホバーに乗ったお子さん達は大興奮です。地面すれすれの滑走は日常生活にない新鮮な乗車体験だったようで、親御さんに「これ欲しい！」とせがむお子さんもいれば、「帰ったら二人で作ってみようか」とやる気を見せるご夫婦やカップルも。コストを掛けずに作り上げたホバーは皆さんにも気軽に取り扱われる工作だと感じて頂けたようで、「私たちも作ってみよう」という声は私たち科学グループメンバーにとって最高の声援となりました。

今回は会場を広々と使えたため、自作ホバーを床で思いっきり滑らせて楽しむ親子連れも多く見受けられました。帰宅後も楽しんで頂けると幸いです。ご来場、ありがとうございました！



## 天文グループ

astronomical group

M・S



去る3月18・19日、私たちS.P.VのS.P.Vによる、市民の皆様と触れ合うためのボランティアまつりが今年も開催されました。天文グループの内容としては、

①星座早見盤作り、②太陽観望、③隕石展示などです。

まず①においては一部難しい工程があるのですが、そこが腕の見せ所、巧みな話術を駆使して小さいお子さんでも頑張れるようにしています。②は天候がものを言うので自分たちができることは何もないと思われがちですが、少しでも見やすい場所を確保しようと研究中です。③は、ボランティアでも「本当に隕石？」という思いを抱いてしまうような難しい代物ですが、来場された方に夢とロマンを運んでいます。

毎回、自分たち自身も楽しんでしまうこのお祭り。足を運んで頂いた方、ありがとうございました。

## よもやま 四方山雑記 ランニングのススメ

今年も4月29日の昭和の日に郡山シティマラソンが開催されました。私がシティマラソンに参加したのは、震災後からなので今回で6回目です。

気温12℃、天気も晴れの中、気持ちよく完走できました。今年はジム仲間の声援が何より心強かったです。走っていると、歩いているときもそうですが、普段車を使って移動しているときには気づかないことが目に入ります。今年は鳥の鳴き声、雪の残った山々等景色を楽しみながら完走できました。

走ってみようかと迷っている方、健康寿命を延ばす為にも、一度チャレンジしてみてはいかがですか？

案内グループ 菅野佳子

## くらしの科学

### 家庭のあの「ジャリジャリ」に注意

スクラブ洗顔料や歯磨き粉のジャリジャリ感、実は環境破壊の素になっています。旧式のタイプのジャリジャリの素はプラスチックを1mm前後あるいはそれよりずっと細かく碎いたマイクロプラスチック(マイクロビーズ)というもので、これが下水処理場で回収できずに川や海に流れ込み、プランクトンや魚、鳥への影響が無視できないほど多く漂っていることが明らかになりました。その表面にPCBなど有害物質を吸着するので、なおタチが悪い。さて、最近になって大手メーカーを中心に生分解性のある(いわゆる天然素材の)代替品に変える、使用しないなど自主規制がとられるようになりましたが、まだまだ旧式の成分の商品は流通しているようです。もし成分表示に「ポリプロピレン」などプラスチックがあつたら要注意です。

科学グループ 熊本隆之

## そら 宙レター 隕石

流れ星を見たことがある人は多いと思いますが、流れ星が燃えつきずに、隕石となって落ちたのを目撃した人はまずいないと思います。

今年の3月に、青森県で隕石の落下と思われる孔(クレーター)が見つかりました。久々の隕石か!!とわくわくしながら事の展開を見守りました。

しかし、隕石は発見されず、調査活動も土地所有者との調整がうまくいかず、クレーターそのものが、何が原因で形成されたのかも分からずに埋め戻されてしまったようです。

貴重な発見につながる可能性があったのではないかと残念です。

福島県ではまだ隕石が見つかった話はありませんが、もし隕石落下現場に遭遇したら、現場をいじらずに、郡山市ふれあい科学館に連絡いただければと思います。

天文グループ 齋藤正一